

部局長会議議事要旨

日 時 平成26年9月17日(水) 14時20分～15時45分

場 所 本部棟401会議室

出席者 平野総長、恵比須、東島、馬場、相本、大竹、大木、岡村 各理事、
金倉、下田、永田、星野 各副学長、
東(外)、和田(文)、中道(人)、竹中(法)、大西(経)、篠原(理)、金田(医)、
脇坂(歯)、堤(薬)、片岡(工)、河原(基)、我田(言)、村上(国院)、井上(情)、
仲野(生)、三阪(高)、片山(小児)、目加田(微)、八木(産)、中村(蛋)、
小川(社)、片山(接)、前田(歯病)、有川(国際)、橋爪(博)、岩井(日日)、
中野(核)、西尾(サ)、疇地(レ) 各部部长

欠席者 池田 副学長
掛下(工) 研究科長

オブザーバー 瀧原、岩谷 各総長補佐、小川、沖田、尾上、近藤、進藤、堂目、深瀬、三成、村上、
山根、山本 各理事補佐

○ 前回議事要旨(案)の確認

前回(7月16日)の議事要旨(案)について、特に意見等があれば9月24日(水)までに総務企画部総務課企画調整係へ提出の上、確定することとした。(なお、同日までに意見の提出はなく、原案のとおり確定した。)

議 事

- 1 平成27年度大学留保ポスト(従来分)配分案について
恵比須理事から、配付資料に基づき、大学留保ポスト(従来分)の平成27年度配分案についての報告があった。
- 2 大学院入学試験における出題ミス等の防止について
東島理事から、配付資料に基づき、平成27年度入試の出題ミス等の状況と対応について説明があり、各部局においても十分に点検を行い、ミスの防止及び早期発見に努めていただくよう依頼があった。
- 3 平成26年度教育研究活動積算経費10%留保分の取扱について
大竹理事から、配付資料に基づき、平成26年度当初配分における教育研究活動積算経費の10%留保の取り扱いについて、人事院勧告に準拠して本学の給与改定を実施した場合、留保額を人件費に充当してもなお不足額が生じ財源の追加捻出が必要となる旨、説明があった。
- 4 学内予算配分見直しについて
大竹理事から、配付資料に基づき、次年度以降の学内予算配分方法の見直しについて、平成26年中に物件費の積算事項の見直しについて検討を行うため、学内予算配分の見直しに関するワーキンググループを設置したい旨の説明があり、ワーキンググループを設置することの了承を得た。

5 大学に対する出資事業について

馬場理事から、配付資料に基づき、官民イノベーションプログラム（国立大学に対する出資事業）の進捗状況について説明があり、今後のスケジュール等について部局長との情報共有を行った。また、本件については、改めて別の説明会を開催する予定であり、会社の登記が完了次第、改めて報告を行う旨の発言があった

6 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（案）について

相本理事から、配付資料に基づき、平成26年8月26日に文部科学大臣決定として策定されたガイドラインの概要について説明があり、各部局においても対応を検討願いたい旨の依頼があった。

7 国際共同研究促進プログラム（短期人件費支援（平成26年度））の募集について

相本理事から、配付資料に基づき、未来戦略の一環として国際共同研究の支援を積極的に進めている中で、国際共同研究を更に促進するための新たな事業の概要について説明し、各部局からの積極的な応募を促すとともに申請の取り纏めについての依頼があった。

8 平成27年度科学研究費助成事業の公募について

相本理事から、配付資料に基づき、9月1日に平成27年度科学研究費助成事業の公募に係る通知があった旨説明があり、積極的な応募を促すとともに、科学研究費助成事業の公募は10月24日（金）が提出期限となっており、申請予定者は早めに提出するよう周知の依頼があった。また、各種支援制度についても周知の依頼があった。

9 各財団から受ける研究助成について

相本理事から、配付資料に基づき、財団から研究助成を受けた本学研究者が、財団の規定に反していたことが判明したことを踏まえ、今後研究助成を受ける場合は財団の規定を遵守するよう周知依頼があった。

10 職務給制教職員の給与額等について

大木理事から、配付資料に基づき、職務給制度としている教職員（非常勤職員、年俸制の任期付常勤教職員等）の給与額の改定について、地域相場やその他の社会情勢及び大学の財務状況等を勘案し、総合的に判断した結果、一部改定を行うこととした旨、報告があった。また、一般職時間給表（二）の区分について、従事する業務内容等の全体の構成を総合的に見直し、3区分から2区分にすることとした旨、報告があった。

11 「大阪大学中之島センター活性化のためのプラン」の検証及び提言について

岡村理事から、配付資料に基づき、中之島センター活性化のために実施してきた施策及びセンターの現状についての報告があった。さらに、今後の方向性として中之島センターを積極的に活用すべきである旨の提言について説明があった。

12 在阪報道関係者と大阪大学との懇談会について

岡村理事から、配付資料に基づき、10月22日（水）に吹田キャンパスで実施する在阪報道

機関との懇談会について、学内施設（未定）の見学会を含めたものとする旨説明があり、また学内者についても積極的に出席するよう協力依頼があった。

1.3 北米同窓会等への参加について

岡村理事から、配付資料に基づき、北米同窓会への参加、カリフォルニア大学バークレー校との協定締結、国際医療センターシンポジウムへの参加等について報告があった。

平野総長からは、カリフォルニア大学バークレー校との協定は本学で100番目の協定であり、カリフォルニア大学バークレー校のオフィスが来年夏に豊中キャンパスに設置される予定であることから、実質的な内容を伴った重要な協定であり、学生の交換留学を推進するものになるとの発言があった。

1.4 卒業生担当者ネットワーク（仮称）の構築について

大竹理事から、配付資料に基づき、卒業生との関係強化に向けた施策を全学的な体制で展開するため、各部局に「卒業生担当者」を設置し、担当者間の情報共有と連携強化を進めることについて協力依頼があった。

1.5 大阪大学未来基金の活動報告について

大竹理事から、配付資料に基づき、大阪大学未来基金の累計受入額が30億円に到達したことについて報告があり、各部局における未来基金創立100周年ゆめ募金ポスターの掲示について依頼があった。

1.6 大阪大学の集いについて

大竹理事から、配付資料に基づき、12月5日（金）に東京の学士会館にて「大阪大学の集い」を開催することについての周知依頼があった。

1.7 光熱水の使用料金と使用量の推移について

秋山施設部長から、配付資料に基づき、光熱水の使用料金と使用量について、平成23年度からの実績値と今後の予想値について説明があり、各部局における節約についての協力依頼があった。

1.8 平成26年度大阪大学保護者の集いについて

東島理事から、配付資料に基づき、保護者に大学運営の実情や本学の教育・課外活動等について理解を深めてもらうため、11月2日（日）に大阪大学会館講堂にて「保護者の集い」を初めて開催することについての説明があり、部局長に参加願いたい旨の依頼があった。

1.9 大阪大学未来トークについて

東島理事から、配付資料に基づき、「大阪大学未来トーク」の後期の講演者の紹介があり、また、10月20日開催の「大阪大学未来トーク」について、各部局の構成員に積極的に参加願いたい旨の依頼があった。

（以上）